

令和6年度 第2回 南部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年11月21日（木） 13時40分から15時20分まで
- 2 開催場所 南部中学校 多目的室
- 3 出席委員 柳川 樹一郎、長谷川 尚也、田口 博、蓑 悦子、
杉浦 秀典、仲田 知加子、鈴木 健吾
- 4 欠席委員 清水 哲夫、大場 敬丘、土屋 善次郎
- 5 学 校 御手洗 実（校長）、山村 隆信（教頭）、
都築 哲（主幹）、山崎 孝依（事務）
飯田 知史（CS担当教職員）、深澤 由美子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 深澤 由美子
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について意見を求めたところ、柳川委員より田口委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
 - （1）休日の部活動について
 - （2）今後の学校運営について
 - ・ いじめ防止等のための基本的な方針について
 - ・ 二大行事の反省と来年度以降について
 - ・ 制服について
- 11 会議記録
委員総数7人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立
議長の指示により、教頭および主幹から別紙資料に基づき協議事項について説明があり、委員からは以下の発言があった。

（1）休日の部活動について
 - ・ 費用、保険、時間、人材の確保が問題です。しっかりとした予算、市や教育機関からの補助が必要なので、運営協議会からも声を出していきたいと思います。
また、子供たちが普段から接して信頼している先生に直接指導してもらうことに大きな意味があると感じます。その場にいらっしゃることで外部指導者も安心感が得られ、何かあった場合の対応もスムーズだと思っていますので、希望される方には指導をお願いしたいです。
部活動の意味は非常に大切であり、そこで得られる経験、仲間、文化、運動、教育的な活動は将来に向かって非常に大切です。
家庭によっては送迎が難しい場合もあるので、子供達だけでも通えるように活動場所は学校が望ましいと思います。（柳川・長谷川・鈴木委員）

- ・ 土日や休日にも勤務されている方も多いので人材確保は難しい。保護者ではなく、南部中卒業生の学生や社会人をお願いするのはどうか。
部活とクラブの扱いが違くとケガをした時の保険対応等が難しいのではないで
しょうか。調整を考えたいですね。(田口・長谷川・蓑委員)

(2) 今後の学校運営について 制服について

- ・ 夏の女子セーラー服については、着用する機会も少なく高価なためワイシャツへ移行しても良いと思う。式典や対外的な場面を考えて他校を参考にしながら検討したい。(柳川・杉浦・中田委員)

各議事協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

12 学校支援コーディネーター活動報告

先日の職業体験で2日間受入れをしました。

1日目、まず工場見学をしました。初めて生産現場を見たそうで、男の子が「すごい」と言っていました。

その後は主にハンダづけや回路の作成を行いました。

まずはハンダごての教育と訓練。技術の授業ではやらないものですが、初めに2つの線をかぎ型に曲げて交互に引っ掛けた状態でハンダをつける。その後で少し難しいですが曲げずにストレートで合わせた状態のハンダづけをしました。

2日目は昨日に続きハンダを使ってカップ麺のタイマーを作りました。

そのタイマーは時間設定ができて、実際にカップラーメンを用意してお湯を入れタイマーとして使いました。

子供達になぜこの会社を選んだのか尋ねると、工作が好きだと答えてくれました。将来の技術者に育ててほしいと願っています。

その他報告事項

司会から、次回会議は、令和7年2月13日(木)午後1時40分から多目的室で開催する旨の報告があった。